

緑化センター

ヒヨドリは 弱者？強者？



ヒヨドリの名前は「ヒーヨ・ヒーヨ」と鳴く甲高い鳴き声からつけられたようです。何時も同じ調子で鳴くのではなく「キョロ・キョロ・ピー」など変化に富んでいるために、一瞬他の種と間違えることもあります。秋から冬にかけて木の実に集団で近づくときは「ピー・ピー」と長めに引いて鳴き、ワシやタカが近づいたように思わせて他の小鳥を追い払い、木の実を独占する生活の知恵を持っています。でも反面、高い鳴き声は天敵のハイタカやツミに居所を知らせることにもあり、彼らの犠牲になることも多く、他の猛禽類の命を養う役目も担っています。

ヒヨドリ ヒヨドリ科

緑化センターで一番個体数の多い野鳥といっても過言ではない。四季を通じてその甲高い鳴き声が聞こえ、飛行の姿もよく見かける。

採食の内容も甲虫類から木の実までかなりの雑食性であるために、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロなどの好物と重なっている。これらの小鳥類はヒヨドリが来ると早々に餌場を譲って逃げるし、逃げなければ追い払われてしまうケースが多い。

集団で行動していることが多く、繁殖期以外は4、5羽から十数羽、春秋の渡りの季節には100羽、200羽もの集団で移動することが多い。群が大きくなるほど食糧も多く必要になり、餌を求めて絶えず移動を強いられ、鳴き交わす声と集団の動きは天敵の目に付きやすく、より大型の猛禽類に襲われることにもなっている。

文と写真 吉見 良一氏

コーヒーで一息入れませんか
緑化センター レストハウス